

対東ティモール民主共和国 事業展開計画

2021年 4月 現在

基本方針 (大目標)	持続可能な国家開発の基盤づくり支援
---------------	-------------------

重点分野1 (中目標)	経済社会基盤（インフラ）の整備・改善															
開発課題 (小目標)	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考			
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度						
社会・運輸交通インフラの整備・維持管理 経済・社会基盤整備プログラム																
			【現状と課題】 東ティモールは、国家歳入の8割を石油・天然ガスの輸出による収入に依存しており、持続可能な発展のために、民間経済活動の活性化による石油・天然ガス依存型経済からの脱却が重要課題である。民間経済活動の活性化のためには運輸交通ネットワークの基盤整備とそれを整備・維持管理する組織・人材の能力の強化が必要である。また、地域レベルでは、基礎教育や保健衛生及び女性の社会参画を進める社会基盤の充実が必要である。													
			【開発課題への対応方針】 東ティモールが今後持続的かつ安定的に発展していくため、道路・橋梁等の交通ネットワーク構築を中心とした、経済活動の活性化に資するインフラ整備に係る支援を行う。本支援に当たっては、我が国の支援の特徴である質の高いインフラの整備を重視する。また、地域レベルの課題に対しては、草の根・人間の安全保障無償資金協力等による支援を行う。													
			【運輸交通・インフラ整備】 運輸交通に係るインフラ整備、同インフラを整備・維持管理する組織強化・人材育成により、人の移動・物流の活性化に資する支援を行う。	国道一号線整備計画	有償	■	■					52.78	9, 11			
			【社会インフラ整備】 基礎教育、保健衛生及び包括的な社会参画の促進に資する支援を行う。	ブレジデンテ・ニコラウ・ロバト国際空港整備計画	協準		■	■	■	■			9, 11			
				道路インフラ及び品質管理アドバイザー	個別専門家	■	■	■					9, 11			
				道路斜面防災防除事業にかかる案件化調査	普及・実証・ビジネス化事業	■	■	■					9, 11			
				港湾行政マネジメント・港湾オペレーション	個別専門家			■	■	■	■		9, 14			
				戦略的全国港湾開発マスタープランプロジェクト	開発計画		■	■	■	■	■	2.56	9, 11, 14			
				空港開発・維持管理	第三国研修	■	■						9, 11			
			東ティモール大型自動車整備士および建設機械整備士オペレーター養成事業	日本NGO	■						0.38	8, 9				
			経済社会基盤(インフラ)分野の課題別研修	課題別研修他	■	■						8, 9				
			洪水対策・基礎情報収集確認調査	基礎情報調査		■	■	■				11, 13				

		「ふりかけ」普及と食生活改善による栄養改善事業	日本NGO	██████████				1.10	2, 3, 4	
		住民参加によるプライマリヘルスケア強化事業	日本NGO	██████████				1.54	3	
		東ティモールのラジオ局による教育放送の実現に向けたイニシアチブ	草の根技協	██████████					4	
		未利用資源の堆肥化を軸とした資源循環システム構築のための人材育成および組織化支援事業	草の根技協	██████████					1, 2, 15	
		パーツ大学における「住民ニーズに基づく保健実践」のための教育強化プロジェクト	草の根技協	██████████					3	
		政府・公共セクター機能強化分野の課題別研修	課題別研修他	██████████					10, 16	
		教育・医療・給水関連の草の根無償資金協力	草の根無償	██████████				1.57	3, 4, 6	16件
		保健・教育分野のJICA海外協力隊派遣	JOCV	████					3, 4	
		東南アジアにおける文書遺産の保全にかかる能力向上支援	マルチ	██████████				0.10百万USD	4, 8	国連教育科学文化機関(UNESCO)

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「実線「———」（＝実施期間）、「破線「- - -」（＝実施予定期間） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当該略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf